

「きょうのくつした、どれにしようかな」

子どもたちは、成長する過程で進路先や就職先など大きな「選択・決定」をする節目を迎えます。その過程でたくさん考え、迷い、悩み、立ち止まり・・・ときには苦しい思いをすることも多いと思います。それでも、人生の主演として、選択・決定をしていくこととなります。「選択・決定」は悩みながらも人生を主体的に切り拓いていく力の一つだと思います。今回は、その「選択・決定」をテーマにお伝えします。



今日履く靴下を選ぶ・・・日頃何気なく行っている「選択・決定」ですが、無意識にやっていることを含め、どのような過程や思考を経て「その日の一足」を選んでいるか、分析してみましょう（もしかしたら他にもたくさんあるかもしれません）。

「これがいい」「これはかわいい」等、心が動くことが素敵ですね。お気に入りだから選ばずしまっておく、と言う場合もありますね。

自分が求めるものや目指すことと、現在やこれからの状況を考えて、条件が合うものを選ぶことも必要になります。

- ・今、どのような靴下を持っているか確認する。
- ・靴下の素材、形状、模様、状態を確認する。
- ・自分が履きたいと思う靴下を検討する。（いくつかの候補に絞る）
- ・その靴下は今日の服装に合うか検討する。（トータルコーディネートも気になるところです）
- ・その靴下は今日の天候に合うか検討する。（暑い？寒い？雨だけど白い靴下で大丈夫??・・・）



☆靴下を選ぶ

- ・その靴下を履いてどうだったか振り返る。（改めて振り返る機会はなくとも、履き心地、見た目、暑さ寒さなどを考え、次に活かす）

そのときに見て得た情報と、これまでの経験で得た情報を組み合わせて選択肢とします。

選択肢と、合わせるものの組み合わせを考えることもあります。考えることがたくさんありますね。

何かを選ぶということは、それ以外を「選ばないと決める」過程でもあります。

いかがでしたか。靴下を選ぶまでにいろいろな思考の過程があることに気付いたのではないのでしょうか。靴下の選択は一例ですが、日常の一つ一つの行動は、多くの知識や経験、考えを基にした、「選択・決定」によって行われています。そのような日々を積み重ねて、子どもたちや私たちは大きな「選択・決定」に向かう力をつけていくことが出来るのだと思います。「選択・決定」が得意ではない子どもたちもいます。子どもたちが少しずつ経験や成功体験を積み重ねていけるよう、私たちは、その機会を提供し、必要な支援をしたいものです。大切な力だからこそ、日常の何気ない（と思われがちな）「選択・決定」を大切にしていきたいですね。